



# いっぽん!

第11号

■発行 伊藤ふみひろ後援会広報委員会 ■発行責任者 伊藤文博 ■連絡先 TEL 025-562-3988  
■公式ホームページ URL <http://www.fumihiro-ito.com> ■E-mail [f-ito@fumihiro-ito.com](mailto:f-ito@fumihiro-ito.com)

## ■ご挨拶



会派：新政会  
所属委員会：  
文教民生常任委員会  
地域情報化調査推進  
特別委員会

涼しい秋になりました。この「いっぽん」がお手元に届くころは紅葉も終わった頃でしょう。

山から秋が下りてきて、追いかけるように冬が降りてきます。

時間の経つのは早く、池波正太郎は小説「剣客商売」で、主人公の秋山小兵衛の心境として「年を取るほどに時間の経つのが早く感じられる」と言っています。52才の私にも少なからずそのような感じられます。「人生は一度しかない」感を深めています。

合併して3年半が経過し、半年後には市長と共に改選を迎えます。

次回の立候補を表明している米田市長の4年間の評価され、次の4年間をお任せするのはいかがでしょうか市民の審判を仰ぐこととなります。

「糸魚川市の行方は、市長が握っている」と言っているでしょう。糸魚川市にとって最も重要な選挙となります。

まず、立候補した人から選ぶ前に、「どのような人に市長になってもらいたいのか、もらわなければならないか」という視点で、市政を考え立候補者を選ぶという姿勢が必要です。

どのような顔ぶれが候補者として並ぶのでしょうか。

一方、次の市議会議員選挙は、市域全体を一選挙区として行う初めての選挙になります。定数も30名から26名に減員となり、厳しい選挙戦が予想されます。

私は、選挙のことを考えて日頃の議員活動をしているわけではありませんが、市民の皆様には、糸魚川市のために有り合わせを尽くそうとしている私の姿を理解していただきたいと思います。

この「いっぽん」もなるべく多くの方に読んでいただき、判断していただきたいと思います。

市議会議員は、政治家の末席に過ぎませんが、糸魚川市のための、市民のための政治活動とは何かを常に考えながら働いていかなければならないと、私は考えています。



## 平成20年9月議会とその後

糸魚川市議会9月定例会議が9月1日から25日までの日程で、議案審査、一般質問が行われました。その後の委員会審議内容を含めて要点をお知らせします。

### I 糸魚川市内小中学校の給食での、事故米穀及びその加工食品の使用状況について

10月7日に糸魚川市教育長から通知があり、糸魚川市の小中学校では、事故米穀を使用した製品の使用はなかったことが分かりました。

10月6日(月)の文教民生常任委員会の時点では、小学校13校、中学校3校で「すぐる食品(株)」の加工食品を使用していて、10月3日の新潟県からの通知により事故米穀が混入した恐れのある期間が判明したので再調査中とのことでした。

しかし、その後の調査で、該当する製品使用はなかったことが明らかになり、一安心です。

健康被害の報告や保護者からの問い合わせもないということで、市民は冷静に見守っていたようですね。

### II 世界ジオパーク認定にむけての取り組み状況について

## 【市長】（要約）

世界ジオパークを目指す地域は、7月18日までに日本ジオパーク委員会へ申請書を提出することになっていて、糸魚川市の外、洞爺湖、山陰海岸、四国、島原の5地域が申請しました。

今後のスケジュールといたしましては、9月4日の日本ジオパーク委員会において書類審査が行われ、その後の現地調査を経て、10月末から11月にかけて、まずは日本ジオパークが決定される予定となっております。

この時点において、世界ジオパークに申請できる地域も決定いたしませんので、12月頃に世界ジオパークネットワークに申請し、書類審査・現地調査を経て、来年の夏から秋には世界ジオパークが決定する予定です。

その後、日本ジオパーク委員会の現地調査が9月30日と10月1日の2日間にわたり行われました。糸魚川市の魅力をアピールしたわけですが、2名の委員と1名の事務局の反応は良く、その通り10月20日（月）に糸魚川市を含む3地域の日本ジオパーク認定が決定されました。

### ◆世界ジオパークの目的◆

- ① 優れた地質遺産を保護して後世に伝えること
- ② 教育と研究に活用すること
- ③ ジオツーリズム（地質見学旅行）による地域振興に活用すること



「世界ジオパーク認定を地域おこしの起爆剤として活かしていくこと」が、糸魚川市の最大の目的となります。これからの重要ですね。

### ■世界ジオパークへの期待

10月20日ついに糸魚川が「日本ジオパーク」に決定しました。他には、サミットが開催された北海道の洞爺湖と長崎県の島原半島であり、いずれも日本で名の通った地域であります。

先日、仕事の関係で中国人社長と日本在住の中国人が当地に初めて見えられた時に糸魚川を紹介する際、私は「世界ジオパーク」であると既に紹介をしておきました。（早とちり？）

先方はジオパークが何か理解していませんでしたが、恥ずかしなから私も勉強不足で「世界遺産」の地質版」と説明したら何となく理解してもらえた様子でした。

「世界」へ糸魚川を発信し、地域活性化の大々チャンスです。「糸魚川世界ジオパーク」の言葉を広めて行きたいですね。

糸魚川市 30代 男性

## II 情報基盤整備について

### 【市長】（要約）

上越ケーブルビジョン株式会社（JCV）から、民設民営の提案を受け、実現に向け、協議して参りました。

その後、市が地域公共ネットワークを整備することと、加入率60パーセント以上の確保を条件に、全域、JCVによる民設民営で実施することに参りました。

また、JCVからは、ケーブルテレビ整備について、平成22年度の単年度整備とする提示がありましたので、市といたしましては、平成21年度に地域公共ネットワークを整備することとしております。

平成22年度末には糸魚川市全域でのケーブルテレビと高速通信網が実現します（条件付き）

条件面は整理されました。今後の課題は市民の加入率です。

加入率を上げるために、市民の側から見た「費用対効果」Ⅱ「ケーブルテレビに加入する」とどのようないことがあるのか」を明らかにする

作業が市役所担当部署で行われています。



このあと、市民に対する説明会が各地で開催され、加入に対する意向調査が行われます。ここで60%の加入率を確保出来なければ、事業実施はその見込みが立つまで延期となります。

市長も相当な意気込みをもってこの事業に望んでいるようですので、大いに期待して見守りたいと思います。

### ■ケーブルテレビへの期待

私の生活では趣味で映画・スポーツ番組を見て楽しむために、ブロードバンドの環境が整っているため、ケーブルテレビの必要性を感じていませんが、環境が整っていない地域の方は期待していると思います。

特に事業所などでは必要だと思えます。

環境が整っていない地域の方のためにも、内容の濃い情報発信を



期待すると共に、高齢者にも解りやすい説明で60%以上の加入を実現して欲しいと思います。一日でも早くどんな情報サービスを発信してくれるのか具体的に示して欲しいものです。

ケーブルテレビで地域の活性化が図られて、若者からも魅力のある「糸魚川」になる事を期待しています。

糸魚川市 40代 男性



## 九月議会の一般質問

I. 総合計画の各課題に対する対策の進捗よく状況と今後の対策について

平成18年11月に総合計画が策定され、市長は「『翠の交流都市』の実現には、産業振興による仕事づくり、安全・安心な暮らしづくりを重点に施策を進め、人口減少に歯止めをかけ、定住を促進することが最も重要」と言っています。

間もなく、策定後満2年を迎え、毎年ローリングの実施計画も見直す時期がやって来ています。市長4年間の最終年度も残り半分

となった現時点での、課題に対する対策の進捗よく状況と今後の対応について問いかけました。

ポイント（一つだけ取り上げます）

□要介護高齢者の増加防止  
要介護者の増加防止には、介護予防が重要ですが、介護予防・健康づくり・生涯スポーツの連携が今後は大切になります。

介護予防・健康づくり・生涯スポーツは所管が分かれています。今回の市民生活部長の答弁では、3課の連携協議が始まったというところで、今後の展開に大きな期待が膨らみます。

しかし、案外重要なのは介護予防の部分での、老人福祉事業と介護予防事業の連携かもしれません。



須沢地区敬老会（田沢幼稚園児と）

最も運動が必要な人達にどうやって運動してもらおうか？

- ・健康運動教室に出てくる？ **NO**
- ・ウォーキングに参加する？ **NO**
- ・健康づくりセンターが出来たら出掛けて運動する？ **NO**

という、運動したい気持ちがあっても、運動の出来ない人達、要支援または要介護1、2で、まだまだ好転の見込みのある人をどう運動させて、悪化を防ぐか、好転させるかというところが最も重要で。

介護事業に携わるヘルパーさん達が、訪問先で

- 一緒に軽い運動を行い
- 一緒にご飯をつくり
- 一緒に食べ（共食）

一緒に片付けるというような活動をする。これは和光市の先進事例です。何度か担当部署に提案していますが、未だに取り組む姿勢は見えていません。福祉事務所の介護事業の中で、連携して介護予防を行う。そして、健康づくりとも生涯スポーツとも連携して、将来の要介護者を減らす努力をしなければなりません。

市民の側からすれば「スポーツをする・健康づくりをする・介護予防運動をする」ということは自然に移り変わっていくものであり、境目を意識するものではありません。縦割り行政の弊害を排除して、様々な連携のもと市民のための事業を推進していかねばなりません。



須沢パターゴルフ大会

## II. 教育の充実について

学習指導要領が改正され、「『生きる力』の理念の実現のために、これまでの学校現場等での課題を踏まえ、指導面などでの具体的な手立てを確立することを目指します」としています。

糸魚川市としての特色ある教育の実践を通じて「明日を担うひと」を大切にした市政を展開し、ふるさと糸魚川の新しい時代を切り開いていく力を養わなければなりません。

ポイント①

□周辺他市町村との教育環境の格差の現状と対策はどうか。

上越市との教育環境の格差には、上越教育大学の存在、中高一貫校などがあります。

この春スタートした上越教育大学教職大学院は、大学院生（現職の教員）がチームを組んで学校に入り、研究を行います。これは、実質的に教育現場の手伝いとなり質の向上を図ることも出来ます。



田沢小プール開き  
(上教大水泳部模範演技)

糸魚川市の「教育シンポジウム」で上越教育大学渡辺学長は「上越市、妙高市との連携は進んでいるのに、糸魚川市との連携は出ていない。これは糸魚川市からの要請がないからです。」

糸魚川市も上越教育大学との連携を深めていきたいそうです。今後の取り組みに注目しましょう。

又、中高一貫校の存在の有無による格差を、教育効果を高めて埋める努力については、市独自の予算による教員の加配などでのこ入れを含めて、教育政策の検討・実施が必要です。

### ポイント②

- 「個人の可能性を最大限に引き出す」という視点での「学力向上」における現状と課題、対策は。
- 小・中学校における「道徳教育」の充実についての課題と対策は。
- 平成24年からの中学校一、二年生での武道必修化に対する課題と対応はどうか。

「学習意欲」の向上がポイントです。学校教育課長は、「大変に難しい問題で、分かる自分、興味、関心を持つてもらおうこと・・・。」と言いましたが、私はもっと根本的なところに気づかせることが重要だと思います。

「人生は一度しかない、時間は二度と戻らない。」だから「今の時がいかに大切か」「自分の人生をどうするか」というところから、「未来の可能性を広げるために、今、力を養う」勉強する」となっていくのが理想だと思っています。

教師や親が良い背中を見せないと、生徒に対して説得力がありません。

「道徳教育」「武道教育」では、なおさらのことです。

誰が「道徳論」を言っているのか、誰が武道の特性「伝統的な考え」か、誰が武道は、単に試合の勝敗を目指すだけではなく、技能の習得などを通して礼法を身につけるなど人間としての望ましい自己形成を重視する」といった考え方があることを理解できるように教えるかということが重要になります。



青海剣道クラブ指導風景

### ■糸魚川市の教育に期待するところ

昨今、格差社会と言われていますが、教育現場でも、都市部との格差を感じます。

現在の教育現場では、在任の先生方の負担が多めで、山積の問題が解決出来ないのでは無いでしょうか？

上越教育大学教職大学院では、大学院生がチームを組んで学校に

入り、研究を行い、現場の手伝いに取り組んでいると、聞きました。上越、妙高両市では、既に実施しているとのことで、糸魚川市も早急に対応していただきたいと思っています。

又、糸魚川市の特色のある教育を展開し、「糸魚川市と言えば、『教育』だよ」と言われるようになってほしいなと思います。

糸魚川市 40代 女性

### 編集後記

先日、松本から上高地へ向かう道路を走っていると、目の前に鮮やかに紅葉した景色が飛び込んできました。黄色から真っ赤にグラデーションがかかった楓や、みごとに色づいたイチョウに圧倒されて帰ってきました。昼と夜の温度差があるほど鮮やかになるらしいのです。

私が生きているうちは、この景色が見られるとは思いますが、温暖化が進むと変わっていくのかなと、ふと思いました。

「ウーン、何とかせんならん！」電気の節約、資源の節約等少しでも温暖化防止に繋がる事をやってみようと思っっている今日この頃です。

皆さん、これから寒くなってきましたが、風邪をひかないように厚着をして頑張りましょう。

編集委員 S・I